

## 2020～2021年岩国の動き

岩国基地はこれまでの米海兵隊、米海軍、海上自衛隊に加え、米空軍の戦闘機が飛来。また基地の港に貨物船が入港し陸軍のアパッチヘリを陸揚げするなど、米軍4軍が滑走路と港を乱用するハブ基地にされている。アパッチは日米共同訓練「オリエント・シールド」に参加した。

愛宕山を削り基地沖合拡大のための埋め立て土砂に利用した愛宕山開発事業は、当初計画を変更し4分の3の事業地を国に売却。米軍住宅(アタゴヒルズ)が建設された。岩国市が関与するエリアには特別養護老人ホーム、消防防災センター、国立病院が建てられた。さる3月、防災拠点「愛宕山ふくろう公園」が開園した。工費約12億円の4分の3に防衛省の補助金が充てられた。愛宕山開発事業は23年をへて一区切りとなった。福田市長が「基地との共存」掲げる岩国市は、空軍機の飛来や艦船の入港など基地強化の動きに對しまった弱腰である。

9月、岩国基地の南10kmの岩国市通津沖工業団地に建設された、防衛装備庁艦艇装備研究所が運用を始めた。完成式に参加した岸防衛相は「防衛装備の強化や実用化につなげ、地域に寄与する産学官連携の拠点にもしたい」と話した。軍学共同研究、軍民共同研究により、地域社会を戦時体制に近づけようとする動きに反対しよう。

岩国市民は、1の日愛宕山見守りの集い、福田市長への申し入れ、オスプレイ搬入抗議行動、市長の選挙応援神輿出張を問う裁判、爆音訴訟、安保法制違憲訴訟、育鷗社の教科書を使わせない闘い、市長選や国政選挙など、岩国基地の強化に抗して闘っている。私たちも岩国市民を支え、東京、神奈川、京都、鹿児島、沖縄、韓国、フィリピンなど基地問題を抱える各地を結び、アジア米軍総撤収・自衛隊の基地建設反対を闘っていこう。

### ——年表——

2020年8月 岩国市教委、中学校の歴史教科書で育鷗社を選ぶ

9月29日 米国カリフォルニア州でF35Bが空中給油の際に衝突・墜落事故

10月以降、米軍は岩国基地所属機FA18(12機)をF35B(16機)に機種変更(増強)するとして

10月7日 米のF35B墜落巡り、岩国市が追加配備の容認維持

11月2日 岸防衛相、再編交付金の延長に意欲 代替制度を示唆

11月9日 艦載機50機が帰還

11月25日 岩国基地の11月の騒音増加、艦載機帰還で前月比2倍

11月30日 F35Bが6機飛来、岩国基地への追加配備関連 中国四国防衛局から岩国市に連絡

12月16日 米空軍B1爆撃機2機が岩国基地に飛来。「受け入れ能力の確認」

2021年1月 岩国基地の新型コロナ感染者159人、対市民比で10倍

1月31日 鹿児島県西之表市長選、馬毛島基地建設に反対する現職・矢板氏が再選された。岩国基地の艦載機のFCLP基地として建設を強行している

2月1日 米軍機騒音、島根西部で急増 中国山地で訓練活発化

2月8日 米軍機騒音が暮らし直撃。急増の島根西部授業中断、会議支障、泣き出す園児

2月14日 岩国基地にグリーンコープが入港、陸自オスプレイ5機を陸揚げ(2回目)、愛宕山を守る会などが抗議行動を行った。

3月12日 米アリゾナ州でF35Bが砲術訓練中に機関砲が爆発し、機体を損傷した。

3月12日 米空軍のステルス戦闘機F22ラプター6機が、岩国市の米軍岩国基地に飛来した。「周辺地域での演習を数週間にわたって実施するため」という。

3月23日 戦闘機飛来・訓練について、国・米軍に抗議を! 瀬戸内ネットが岩国市に要請。

3月27日 多目的広場「愛宕山ふくろう公園」が完成した。愛宕山開発事業は、岩国基地の滑走路を沖合に移設するための埋め立て土砂を確保するために山の上部を削り平地とした。一帯を住宅団地とする当初計画は中止・変更され、米軍関係者向けの住宅が建てられた。4分の1のエリアは病院、老人ホーム、消防署、公園となった。愛宕スポーツコンプレックス(絆スタジアムなど)は米軍施設。

3月29日 岩国市長がF22飛来に関し、国の連絡遅れに苦言

4月1日 F35B追加配備の完了は今月以降 中国四国防衛局が岩国市に連絡

4月1日 瀬戸内ネットが岩国市に、F35B飛行中止求めるよう要請

4月6日 3月の騒音、2010年度以降最多1746回 訓練活発化が影響

4月12日 F22、岩国基地を離れ米に帰還

4月13日 米軍と海上自衛隊が共同使用する岩国基地(岩国市)の周辺住民が離着陸する戦闘機などの騒音被害を訴えた「爆音訴訟」で米軍機などの早朝・夜間の飛行差し止め請求を最高裁が棄却した。訴訟弁護団と原告団は16日、「騒音をなくす取り組みは続ける」との共同声明文を出した。

確定した広島高裁判決では、過去分の騒音被害の賠償は命じた一方で、飛行差し止めを棄却した。

4月16日 海自岩国所属機、部品の一部紛失 飛行中落下の可能性

4月22日 「基地交付金で店支援を」1市2町議連が山口県議会に要望へ

・5.5岩国基地開放デー、2年連続中止

5月6日 騒音激化、北側目立つ20年度 岩国基地周辺6地点

5月6日 艦載機、5日から硫黄島でFCLP 岩国基地周辺で騒音激化も

5月 聖火リレー 県内中止(7月ソフトボール米国代表が岩国基地内のホテルに宿泊、絆スタジアムで練習)

5月18日 岩国艦載機FCLP終了

5月19日 20日ごろから硫黄島沖で、艦載機が着艦資格訓練。

5月24日 岩国基地艦載機、硫黄島付近の洋上で資格訓練を開始

5月27日 岩国基地艦載機、資格訓練が終了 騒音は減少

6月・あたごスポーツコンプレックス内カルチャーセンターにワクチン接種会場を設置(米軍が日米友好を宣伝)

6月9日 岩国基地強化に警戒訴え 瀬戸内ネットが会見「飛来機増で騒音悪化」

6月10日 FA18のタイヤが着陸時にパンク、滑走路を1時間40分にわたり閉鎖

6月24日 岩国基地の港湾施設に6月24日、米海軍の貨物船USNS フィッシャーが着岸。AH64アパッチ攻撃ヘリコプター4機を陸揚げ。「オリエント・シールド」に参加。防衛省は6月18日から7月11日まで、伊丹駐屯地(兵庫県伊丹市)や奄美駐屯地(鹿児島県奄美市)など全国7カ所の駐屯地や演習場などで、陸自と米陸軍との国内では最大規模の実動訓練「オリエント・シールド」を実施した。

7月7日 米軍機騒音、匹見(島根県)で増加 70dB以上1~5月172回 昨年分上回る

7月13日 F35B 2機被雷、重大事故 市は非公表

7月15日 再編交付金代替、防衛相が前向き 山口知事らが要望

7月21日 福田岩国市長沖繩選挙応援公費出張公費返還請求訴訟で、岩国市審議監と観光課長の証人調べを行った。10月4日最終弁論、12月13日判決の予定。

7月30日 再編交付金継続に手応えー岩国市長、「防衛相から力強い回答」

8月22日 米海軍貨物弾薬補給艦カール・ブラシアが入港、艦上訓練。岩国入港前には因島(広島県)で定期点検を行った。

9月1日 愛宕山見守りの集いが12年目に入る

9月5日 防衛装備庁艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト発足式(大型水槽で水中無人機の試験を行う施設)

9月30日 事実上の空母化に向けて改修中の海自護衛艦「いずも」が30日、岩国市の米軍岩国基地に寄港した。同基地に所属する米海兵隊のステルス戦闘機F35Bを使った発着艦テストを行った。

10月5日 護衛艦の寄港は基地「機能強化」、住民投票を力にする会が岩国市に抗議

10月6日 F35B、萩・石見空港(益田市)に緊急着陸。給油を目的に着陸したという。

10月6日 瀬戸内ネットが岩国市に対し、護衛艦に戦闘機の搭載反対を要請

10月7日 再発防止「申し入れを」 米軍機が萩・石見空港緊急着陸について、島根知事が中国四国防衛局に要請

10月8日 岩国基地艦載機、5ヵ月ぶり帰還

10月14日 「遠征洋上基地」と呼ばれる米海軍の大型艦船ミゲルキースが、岩国基地に初めて寄港した。基準排水量8万1千トン、全長240メートル、幅50メートルで、



ヘリが自由に離着艦できる海の上の「遠征基地」としての役割を果たす。周辺海域の制海権は米軍が掌握したが、上陸に適した港がない時、陸軍と海兵隊に物資を補給する基地として活用される。

10月19日 衆院選公示。山口2区で松田一志さん(立憲野党)が基地と原発を争点に掲げ立候補、岸信夫防衛相と対決

10月20日 「ミゲルキースの寄港は基地強化である」瀬戸内ネットが岩国市に反対するように申し入れ

10月 テロ攻撃を想定し25日から29日まで岩国基地などで実施された日米共同の基地警備訓練で、市街地を低空飛行した米軍ヘリコプターの騒音に対する苦情が岩国市に殺到した。苦情や問い合わせは27日に51件、28日に23件の計74件。市は基地と防衛省中国四国防衛局に28日、騒音の軽減を要請した。

#### —愛宕山開発事業をめぐる主な動き—

- 1997年6月 米軍岩国基地の滑走路沖合移設着工
- 1998年3月 愛宕山開発事業着工
- 2005年10月 在日米軍再編の中間報告に米空母艦載機の岩国移転が盛り込まれる
- 2006年11月 愛宕山開発事業の見直しを開始
- 2007年1月 防衛施設庁(現防衛省)が米軍住宅の有力な候補地の一つとして事業地を買い取る可能性を山口県に伝達
- 3月 愛宕山から沖合移設向けの土砂搬出が完了
- 6月 県と岩国市が事業中止に合意
- 9月 市が事業地の4分の1を「まちづくりエリア」として転用し、残りを国に売却する案を提示
- 2008年8月 住民団体が米軍住宅化反対の要請書を市、県に提出
- 2010年5月 岩国基地の新滑走路運用開始
- 2012年3月 国が事業地の4分の3を買い取る契約を締結
- 2017年7月 米軍住宅が完成
- 2018年3月 岩国基地への空母艦載機が移転完了
- 7月 愛宕スポーツコンプレックスが全面オープン
- 2021年3月 多目的広場「ふくろう公園」完成

—引用元 おはよう愛宕山、中国新聞など